

～第47回港北文庫のつどい秋の講演会～

～子どもの本を通して子どもの心を考える～ 講演会開催50周年

主催：港北文庫のつどい 協力：港北図書館/菊名地区センター 後援：港北区役所

実施日	時間	講師/テーマ	場所
10月2日(水)	各回共通 講演時間 13:00	高橋源一郎氏(作家) 「読む」って、どんなこと?	菊名地区センター レクリエーションホール
10月17日(木)	15:00	長谷川宏氏(哲学者) 子どもたちと絵本と文学と	港北公会堂 1号会議室
11月9日(土)	受付 12:40 12:55	村中李衣氏 (児童文学作家・山口学芸大学客員教授) 哀しみの中で光を抱く ～ものがたりの力を見つめ直す～	菊名地区センター レクリエーションホール
11月15日(金)	10:00-	交流会～講演会を振り返って	港北図書館2F会議室

* 定員：先着80名

* 保育：2歳以上のお子さん先着10名まで

* 資料代：3500円(参加回数にかかわらず一律) (保険料含め500円)

< 保育説明会 9月30日(月)10:00～港北図書館2F会議室 >

～ 8月30日(金)10:00からお申し込み開始です ～

①または②の方法でお申し込みください

①メールでのお申し込み

k.bunko@gmail.com



②お電話でのお申し込み

045-401-3023 (運営委員：小久保)

045-544-8335 (運営委員：斉藤)

* 保育ご希望の方は

お電話でお申し込みください



お問合せ

kohoku.bunko@gmail.com <https://kohokubunko.web.fc2.com/>

HPもご覧ください

さくらいともか 画

社会福祉法人横浜市港北区社会福祉協議会「港北区ふれあい助成金」の助成を受けています

2024年「第47回港北文庫のつどい秋の講演会」独立行政法人国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」申請中
この活動では、団体広報や子どもゆめ基金への報告のために写真撮影を行います。撮影した写真は、HPや周年誌に掲載することがあります。なお、子どもゆめ基金へ報告用に提出した写真は「(独)国立青少年教育振興機構が保有する個人情報の適切な管理に関する規定」に基づき、子どもゆめ基金助成業務以外の目的には使用されません。

★ 設立50年記念

★ 第47回 港北文庫のつどい 秋の講演会

—— 子どもの本を通して子どもの心を考える ——

主催: 港北文庫のつどい
 協力: 港北図書館
 菊名地区センター
 後援: 港北区政府

夏休みも終わり、東の空には秋の星座が姿を現してあります。
 本年、港北文庫のつどいが設立50年を迎えました。
 今年も素晴らしい講師の方々をお迎えいたします。皆様とともに心の世界を
 限りなく広げるひとときを過ごしたいと思います。

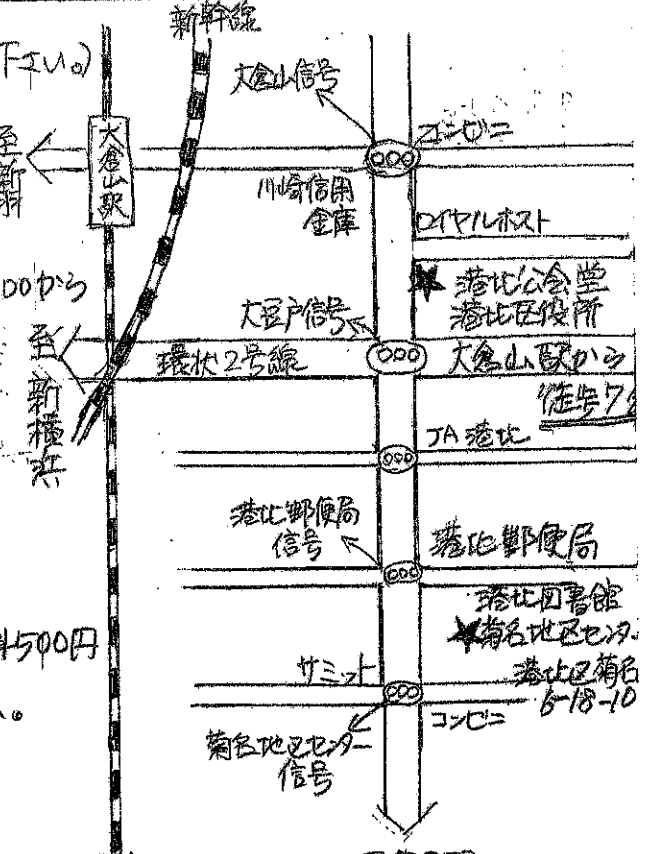
日時	講師	テーマ	場所
10月2日 (水) 13:00 ~ 15:00	高橋 源一郎氏	「読む」って、どんなこと?	菊名地区センター クリエイションホール
10月17日 (木) 13:00 ~ 15:00	長谷川 宏氏	「子どもたちと絵本と文学と」	港北公会堂 1号会議室
11月9日 (土) 13:00 ~ 15:00	村中 季衣氏	「哀しみの中で光をたく 〜ものがたりのかをみつめ直す〜」	菊名地区センター クリエイションホール
11月15日 (金) 10:00 ~ 12:00	交流会	講演会を振り返って 語り合おう	港北図書館 2号会議室

- <受付> 各日12:40から。(講演開始5分前には着席下さい)
- <定員> 先着80名
- <資料代> 3500円 参加回数にかかわらず一律。
初回受付でご納入下さい。
- <お申し込み・お問い合わせ> 受付開始は8月30日(金)10:00から

- ① Ex-16の方 k.bunko@gmail.com
上記アドレスに変更になりました。
- ② 電話・FAXの方 045-544-8335 齊藤
電話の方 045-401-3023 小久保

<保育> 2歳以上のお子様 先着10名まで
 参加回数にかかわらず保険料金の保育料500円
 保育希望の方はお電話でお申し込み下さい。

※ 講演会会場ではお子様を伴われに
 参加はご遠慮下さい。



高橋 源一郎氏

1951年 広島県生まれ。作家。
 1981年 『うつつならキャン』で第4回 群像新人長編小説賞を受賞デビュー。
 毎日金曜日夜、NHKラジオ番組『高橋源一郎の飛ぶ教室』のパーソナリティー
 をつとめる。どんな時代にあっても自由でいられるようにとのタイプのゲストの著書
 と同じ番組名。番組を通して自由だけでなく 楽しさを何より言葉を声に変
 えて、リスナーに思いを伝える。

- 『高橋源一郎の飛ぶ教室 はじまりのこぼれ』 岩波新書
 - 『読むって、どんなこと?』 NHK出版 学びのきほん 教養・文化シリーズ
 - 『書くって、どんなこと?』 NHK出版 学びのきほん 教養・文化シリーズ (新刊です)
 - 『DJ CD』 新潮社
 - 『一億三千五百万人のための小説教室』 岩波新書
- 他著書多数

長谷川 宏氏

1940年 島根県生まれ。哲学者。学習塾を開くかたわら在野の哲学者として研
 究を続ける。2012年ハーベルの翻訳で高い評価を受ける。1998年、ハーベル『精神現象
 学』の新訳でドイツ連邦政府のレッシング翻訳賞・日本翻訳大賞を受賞。今注目を集め
 ている大作『日本精神史 近代篇』の下巻に登場する瀧田貞二氏のことや、絵本作家
 で七喜集の長谷川撰子氏が作品にこめられた思いや市井の暮らしのついでで模索
 してこられたゆたかな生き方に関するお話を話していただく。撰子夫人とは、互いに独立した
 仕事を持ちながら二人三脚で4人の子育てに奮闘された。

- 『日本精神史 近代篇』(上・下) 講談社選書X4工
 - 『高校生のための哲学入門』 ちくま新書
 - 『双書 哲学塾 生活を哲学する』 岩波書店
 - 『幸福とは何か。一ソクラテスからアラン、ラケルまで』 中公新書
- 他著書多数

村中 季衣氏

1958年 山口県生まれ。児童文学作家。1-11月 清心女子大学教授を経て、山口学芸
 大学客員教授。大学院終了後、慶應大学医学部病院管理理学教室にて読書療法の研究
 に着手。小思病棟の子どもたちと絵本を介したコミュニケーションの可能性について考える。
 その後、いろいろな場所でいろいろな人との絵本の読みあいを行いながら児童文学の創作
 を続ける。近年は刑務所での絵本と仲間たちと、教育プログラムアプリや養育母との子
 どもとのコミュニケーションを支える活動を実施。2017年、第一回絵本研究賞受賞。

- 『女性受刑者とわが子をつたへて絵本の読みあひ』 編著 かまかわ出版
 - 『あらのほたけ』 石川に絵 柏成社 坪田譲治文学賞
 - 『哀れを得る看取りの生き方レッスン』 かまかわ出版
 - 『長期入院児のための絵本の読みあひ』 金子書房 第一回絵本研究賞
 - 『4ヶ月の月』 佐藤真紀子 絵 小峰書店 児童文学者協会 協会賞
 - 『子どもと絵本を語りあひ』 ぴんぐわ社
- 他著書多数